

**生命の海科学館の
経営改善を**

問 他の博物館などから展示物を借りて宣伝してはどうか。また、科学館を指定管理者制度に移行する考えはあるか。

答 これまで企画展等で行っているが、さらに研究していきたい。移行にはいろいろと問題はあるが、情勢の変化を見守り、可能性の検討をしていく。

鎌田篤司（市政クラブ）

**改正教育法に対する
市教委の受けとめ方は**

問 郷土や国を愛する態度を養うなどの教育理念の具体化についての考えは。

答 道徳教育の充実、異年齢集団での活動、地域の行事や祭りへの参加や、まちの方々を巻き込んだ事業を行うことだと考える。

問 いじめ・自殺のように、子どもたちの生命に直接危険が及ぶような非常事態には、文科大臣が対応を



「指示」できるとのことだが、これについての考えは。

答 蒲郡市では、命に直接かかわるようないじめに対して、十分な対応をとっていると認識している。

問 蒲郡市の「不適格教員」の実態はどのようなか。

答 平成17年度に支援を要する教員が3人いた。1名は退職し、2名は研修や努力により、学級指導等ができるまでに至った。

波多野努（市政クラブ）

(有)イマジンの指定管理者の取消しについて

問 (有)イマシンに対する蒲郡市の債権総額は、どのようになっているのか。

答 蒲郡市に対する債権総額は1747万6800円である。

問 民間事業者の主要債権の金額はどのようになっているのか。

答 民間事業者に対する債権は市民会館に関連するもので、2300万円強と把握している。

問 市役所内部の部や課での報告や連絡などの対策がしっかりと取れていれば、被害は最小限で済んだのではないかと考える。責任を明らかにした上で、関係職員の懲戒処分をすべきと考えるが、いかがか。

答 関係職員の処分については、懲戒審査委員会が事実関係を調査し、適切な処分をしていく。

来本健作（党派がまごおり）

**新たな観光戦略による
交流人口増加策は**

問 フィルムコミッション導入についてどのような

に考えているか。

答 蒲郡市独自だけでなく、広域的に取り組んでいく方がいいと考えている。

問 コンベンションビューローについて、蒲郡市としての取り組みは。

答 今のところ、そういう動きはないが、過去に一度検討されたことがあった。今は観光ビジョンを広げていく作業の時期であると考えている。

問 スパ西浦モーターパークも新たな観光戦略のひとつになると考えるが、市の考えは。



スパ西浦モーターパーク

答 大変いい施設ができたと思う。サーキットの機能だけではなく、新しく人が集まれば、観光蒲郡にとって大きなプラスになると期待している。

野崎正美（市政クラブ）

**公共施設の
バリアフリー化対策は**

問 人にやさしいまちづくり基本計画が策定されて10年目を迎えるが、公共施設、特に建築物のバリアフリー化はどのようなか。

答 公共施設全体としては、必要なところから順次整備をしていきたい。11の公民館では、階段のスロープ化、手すりの設置、トイレの洋式化、エレベーターの設置といったバリアフリー化を進めてきた。

**蒲郡西IC付近の
ほ場整備について**

問 国道23号蒲郡バイパス、蒲郡西インター付近のほ場整備地権者への同意取りつけの進捗状況はどのよ